

ライフモダンフェンスS

取付説明書 – フリーポール –

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16（C種）以上で施工してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上の注意>


注意

- 柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱の低部についているモルタル防止キャップ（テープ含）や柱補強材は取外さないでください。また柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- アルミ多段柱コーナー部の独立基礎において、指定基礎寸法「アルミ多段柱（C327）」（取付説明書内表記）を考慮した大きさに設定してください。

■梱包明細表

【1】フェンス

名称	略図	員数
フェンス本体		1

※ F2型・F4型本体T-8、T-10サイズには下棧内にスリーブ材が入っています。

【2】支柱

名称	略図	員数
		Uブラケット 柱仕様
T-6 (※1)		1
T-8、T-10(※2)		1

※1 T-6には、モルタル防止キャップが付いています。

※2 T-8、T-10柱には、補強材が入っています。

【3】端部部材

名称	略図	員数
端部部材		2

【4】継手セットE

名称	略図	員数
上棧ストレートジョイント		1
下棧ストレートジョイント		1
ストレートジョイント裏板		2
【4-1】φ4×8トラスタッピンネジ3種D=8		4

【5】端部キャップ

名称	略図	員数
上棧端部キャップ(右)(左)		左右各1
下棧端部キャップ(右)(左)		左右各1
【51】φ4×8トラスタッピンネジ1種D=8		4
取付説明書(C355)	—	1
取扱説明書(UC007)	—	1
注意シール	—	1

1. 基本寸法図

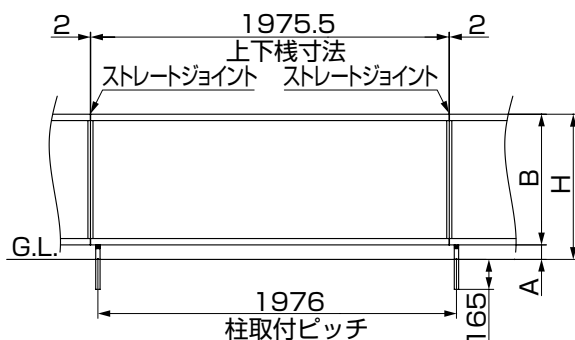


表1-1

サイズ	H	A	B
T-6	600	60	540
T-8	800	80	720
T-10	1000	80	920

ポイント

- F2型・F4型本体T-8、T-10サイズには下棧内にスリーブ材が入っています。

2. 柱の施工 ※図はコーナー角度90°の場合です。

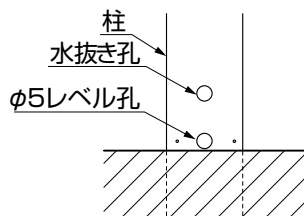


図2-1

- ①各柱を「1.基本寸法図」にしたがって、モルタルで固定してください。

ポイント

- 各柱のレベル孔は水平にそろえて取付けてください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなかったり、上ブラケットが取付けられなくなる場合があります。(図2-1参照)
- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。
- コーナー部には風が集中するため、必ず柱を2本建施工してください。(図2-2参照)
- コーナー継手を使用する場合は、取付説明書「コーナー継手、コーナーポールA、(C357)」を参照してください。

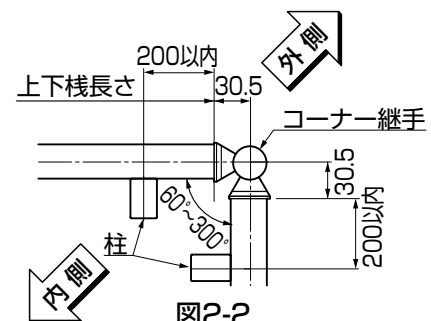


図2-2

3. 本体の取付け

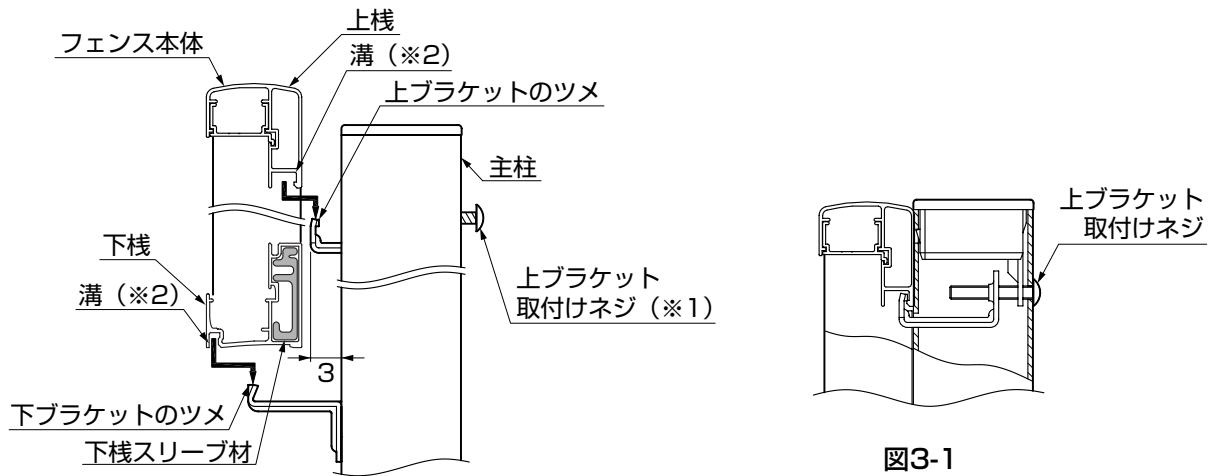
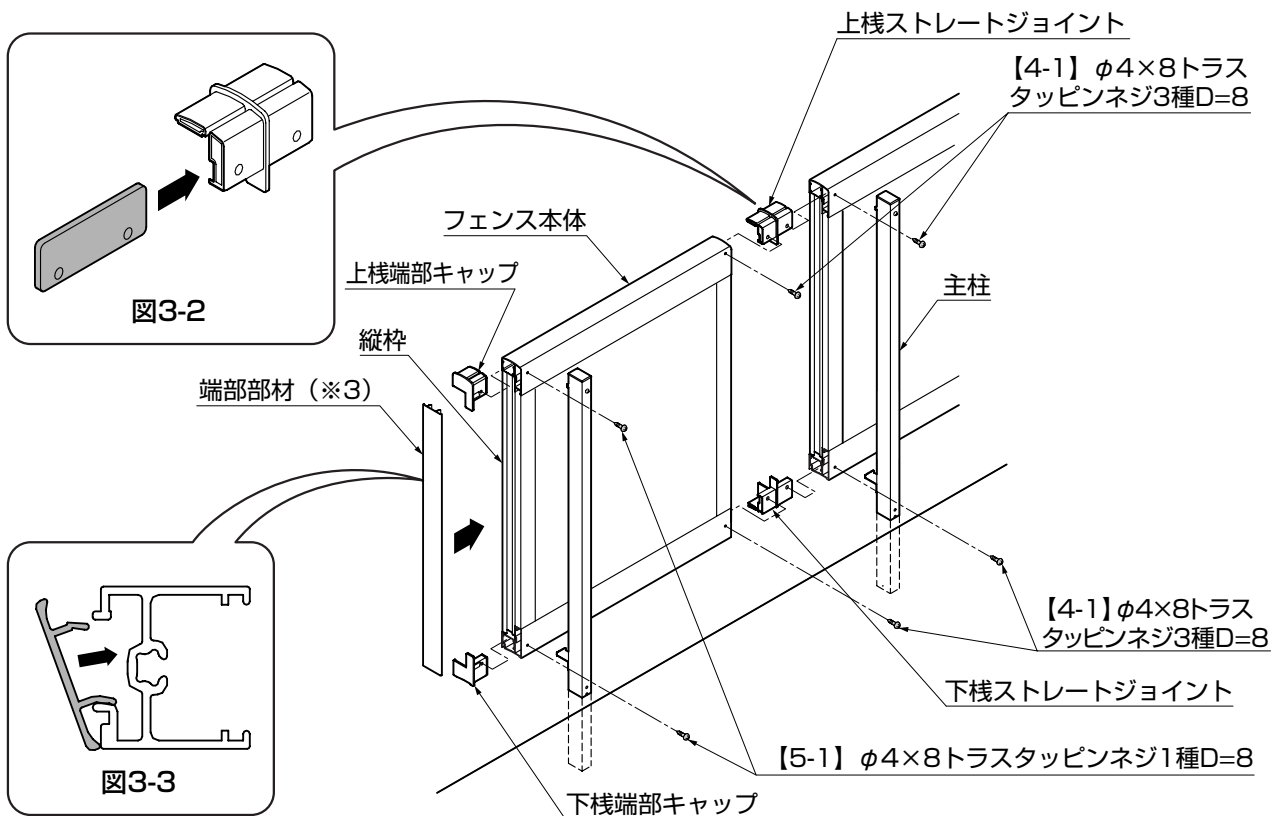


図3-1

- ①上ブラケット取付けネジ (※1) を緩め、上ブラケットを3mm程度出してください。
- ②フェンス本体の上棧、下棧の溝 (※2) に上ブラケット、下ブラケットのツメが入るようにフェンス本体を主柱に取付けてください。
- ③ツメが溝にしっかり入っていることを確認して、上ブラケット取付けネジを締めてください。(図3-1参照)

⚠ 注意

- 現場でフェンスや継手を組付けする場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- F2型・F4型本体T-8、T-10サイズには下棧にスリーブ材が入っていますので、施工時にスリーブ材がスライドして下棧から出ないように注意してください。



- ④上棧・下棧ストレートジョイントにストレートジョイント裏板を差込み、【4-1】でフェンス本体を連結してください。(図3-2参照)
- ⑤F1型、F1A型、F3型、F3A型本体の端部には、端部部材 (※3) を縦枠にはめてください。(図3-3参照)
- ⑥上棧、下棧の端部には、端部キャップを【5-1】で取付けてください。

4. 本体の切り詰め ※本体を切り詰める場合の作業です。

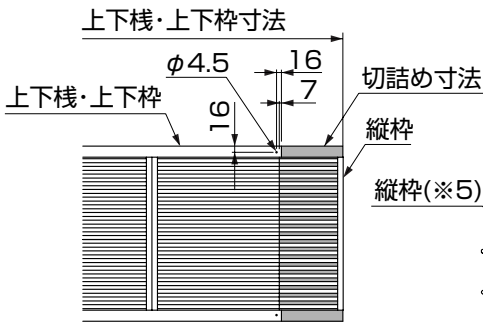


図4-1 F1型 F1A型
F3型 F3A型

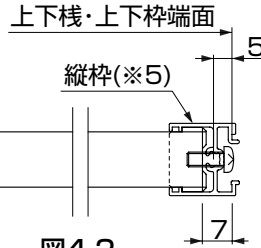


図4-2

①本体の上棧、下棧、上下枠、スリーブ材を取りはずしてください。

ポイント

●F2型・F4型本体T-8、T-10サイズのみ下棧内にスリーブ材が入っています。

②本体の上棧、下棧、上下枠、小棧、スリーブ材など各部材を図の位置で切断してください。

ポイント

●F2型の切断寸法a(※4)は25mmの倍数、F4型の切断寸法は60mmの倍数になります。

ポイント

●スリーブ材寸法=切断後本体寸法-60mm
●スリーブ材は、本体寸法より60mm短い設定となっております。

※切詰め作業はT-8、T-10サイズのための作業です。

③上棧、下棧にφ4.5の孔をあけてください。

ポイント

●φ4.5の孔加工は内側のみです。

④F1型、F1A型、F3型、F3A型、FA型、FB型は、縦棧及び、縦枠を切断した端部個所に取付け直してください。(図4-2、図4-6参照)

ポイント

●縦枠(※5)は、本体左右で向きを違えて取付けてください。
●縦棧は、外側の向きを確認して取付けてください。

⑤上棧、下棧、上下枠、スリーブ材の各部材をもとのように取付けてください。

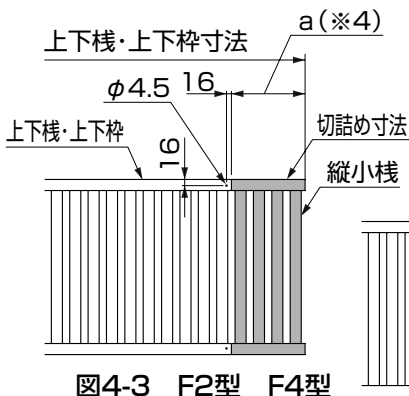


図4-3 F2型 F4型

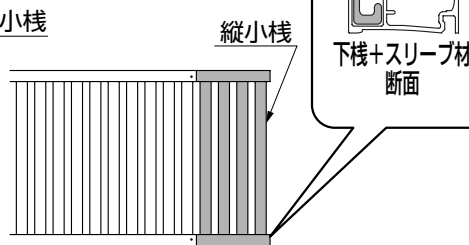


図4-4 下棧内スリーブ材切断位置

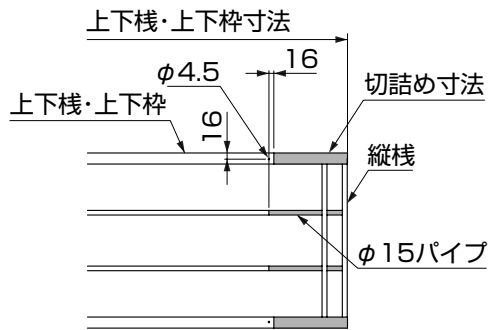


図4-5 FA型 FB型

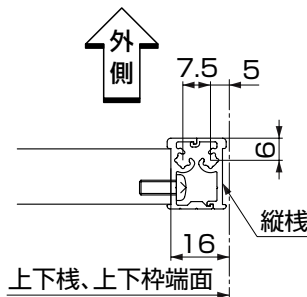
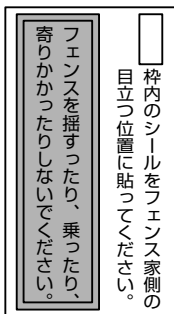


図4-6

5. 注意シールの貼付け



①必ず注意シールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。

注意

●注意シールは、端部キャップの梱包に入っています。

取説コード

C355

JZZ613724A
200702A_1001
200903B_1001